

入札参加者の皆様へ

令和7年8月
大阪府都市整備部

見積参考資料（積算書）の条件明示拡充について

1. 趣旨

大阪府都市整備部では、入札過程における積算条件の透明性および客観性を確保することを目的として、土木積算システムを使用した工事および委託の積算において、これまで非公表としていた積算条件を公開することとなりましたので、お知らせいたします。具体的には、見積り等で決定した単価や歩掛をはじめ、日数、人工、燃料の数量などの施工能力に関する積算入力条件を入札公告時の見積参考資料（積算書）に明示いたします。詳細については別紙「条件明示拡充型見積参考資料（積算書） 実施要領（試行）」を参照してください。

2. 対象案件

特記仕様書に対象案件であることを明記した案件を対象とします。

3. 適用

土木積算システムを使用し、単価適用年月日が070801以降の案件に適用されます。

条件明示拡充型見積参考資料（積算書） 実施要領（試行）

1. 趣旨

大阪府都市整備部では、入札過程における積算条件の透明性および客観性を確保することを目的として、土木積算システムを使用した工事および委託の積算において、これまで非公表としていた積算条件を公開する。具体的には、見積り等で決定した単価や歩掛をはじめ、日数、人工、燃料の数量などの施工能力に関する積算入力条件を入札公告時の見積参考資料（積算書）に明示する。

2. 用語の定義

（１）見積参考資料（積算書）

従来からの見積参考資料（積算書）。以降「従来型」という。

（２）条件明示拡充型見積参考資料（積算書）

条件明示を拡充した見積参考資料（積算書）。以降「拡充型」という。

3. 対象案件

令和７年８月以降に入札公告を行う大阪府の工事及び委託のうち、土木積算システムを使用して令和７年８月１日以降の単価適用年月日で積算書を作成し、対象案件であることを特記仕様書に明記したもの。

4. 明示する内容

拡充型に明示する内容は別表のとおりとし、転載を制限される刊行物等掲載単価は明示しない。

（別表）拡充型の諸経費体系ごとの対応表

諸経費体系	明示する内容		
	（１）単価		（２）歩掛
	ア）見積り等単価 資材名、規格・寸法、単位、採用単価等	イ）施工単価 代価表の表題部に単位当たりの金額	内訳書：費目・工種・施工名称、数量、単位 代価表：名称・規格、数量、単位、積算条件
1 土木工事	○	○	○
3 測量業務	○	×	○
8 地質調査業務	○	×	○
9 設計業務	○	×	○
B 機械（土木基準）	○※	○	○
A 電気（土木基準）	○※	○	○
C 機械（下水歩掛）	○※	○	○
H 電気（下水歩掛）	○※	○	○
J 建築設備	―※※	―※※	―※※
7 役務委託	○	○	○
I 設備点検・整備	○※	×	○

※機器単価および特定の業者にしか見積徴収できない単価等は除く

※※単価適用日070801以降は土木積算システムを使用しないため、「―」表記としている

5. 留意事項

拡充型は、入札参加者の見積りにおける積算条件の透明性、客観性を確保するために明示するものであり、積算条件を表示することにより契約上の制約を受けるものではない。

6. その他

本要領に定めのない事項またはこの要領の規定によりがたい事項については、別途決定するものとする。

附 則

本要領は、令和7年8月1日から施行する。

総括情報表			
設計金額(税抜)(円)	消費税相当額(円)	合計金額(円)	備考
本工事費			
工事価格計			
1. 質問できない内容から、「積算上の歩掛や日数等に関する質問」を削除			「設計図書等に対する質問」への注意点 1. 質問できない内容 入札（見積）時の設計図書等に対する質問にあたり、以下の内容についての質問はできません。 1）公表されている積算基準や市販の刊行物等の内容自体に関する質問 2）発注者が見積を徴収した資材等の徴収先等に関する質問 3）発注者が、予定価格の算出に際して使用した積算システムの計算仕様等に関する質問 4）その他、予定価格等の類推のみを目的としていると判断される質問 2. 同様の質問に対する注意点 各入札（見積）参加者は、全ての質問及び回答の内容を定期的に確認して頂き、既に質問や回答がされている内容と同様の質問は控えていただきますようお願いします。 入札公告されている案件については、共通入札説明書に以下のとおり記載がありますので、ご確認下さい。 ※共通入札説明書の記載事項（抜粋）：「回答には、重要事項等が含まれることがあるため、必ず回答の内容を確認すること。また、回答予定日以前にも回答することがあるため、定期的に回答の内容を確認すること。なお、回答の内容を確認しなかったことによる、入札参加者が被った損失について、本府は一切の責めを負わない。」 3. 設計図書等に明記された内容への質問に対する注意点 予定価格は積算書（金校）に基づき算出しています。 受注後のトラブルを回避するために、設計図書等の内容を十分確認していただき、疑義がある場合は、必ず、「設計図書（委託役務においては入札説明書）等に対する質問期間」中に、質問を提出していただきますようお願いします。 4. 積算基準・単価等について 大阪府都市整備部における工事、測量・建設コンサルタント業務、及び委託役務業務に係る積算基準・単価やそれらの取扱いについての標準的な考え方は、下記ホームページをご確認下さい。 (https://www.pref.osaka.lg.jp/ol30030/jigyokanri/giken/sekisankijyun.html)
設計図書等に明記された内容に 関する質問は、必ず「設計図書質疑 疑問」で行っていただくよう明記			

※※本工事費※※

レベル4行の数量・単位欄が「式」以外の場合、配下のレベル6行は積算要素であり、数量・単位欄は契約数量ではなく単位数量に対する内訳数量を表示している。

費目・工種・施工名称	数量	単位	単価(円)	金額(円)	備考
4 中間層 (車道・路肩部) 長寿命化ポリマー改質アスファルト	4,300	m ²			単位数量：(1)
6 【夜間】 中間層 (車道・路肩部) 3.0m超 平均仕上り厚 70mm	1	m ²			第0-0010号代価表
4 中間層 (車道・路肩部) 排水層部 (中間層)	148	m ²			単位数量：(1)
6 【夜間】 排水性舗装・中間層 (車道・路肩部) 1.4m未満 平均仕上り厚 50mm	1	m ²			第0-0011号代価表
4 表層 (車道・路肩部) 排水層部 (表層)	148	m ²			単位数量：(1)
6 【夜間】 排水性舗装・表層 (車道・路肩部) 1.4m未満 平均仕上り厚 50mm	1	m ²			第0-0012号代価表
4 導水パイプ	492	m			単位数量：(1)
6 【夜間】 導水パイプ (材料費) 内径 30mm 樹脂製	1	m			
4 排水性舗装・表層 (車道・路肩部)	4,300	m ²			単位数量：(1)
6 【夜間】					

①

①見積単価を明示

第0-0002号代価表

排水層線状切削
③

5 c m 以下 一層目
夜間

頁0-0011

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単
土木一般世役		人	
特殊作業員		人	
普通作業員		人	
路面切削機運転 ホイール式2m級切削幅0.3m	④	日	
路面清掃車運転 ブラシ・四輪式・路面切削用1.5m3		日	
ホイールローダ運転 排ガス1次基準 0.4m3 諸雑費		日	
		%	
合計	100	m2	
単位当り	1	m2	

③代価表見出しの単位、金額を明示
(例) m2 当り X,XXX 円 など
※諸経費体系が測量、地質調査、設計業務
などの案件は明示しない

④単位数量を明示

第0-0003号代価表
18
第0-0004号代価表
機-19
第0-0005号代価表

③代価表見出しの単位、金額を明示
(例) m2 当り X,XXX 円 など
※諸経費体系が測量、地質調査、設計業務
などの案件は明示しない

④単位数量を明示

名 称 ・ 規 格	数	単 位	単 価
路面清掃車 [ブラシ・四輪式・路面切削用] ホッパ容量 1. 5 m 3		供用日	
運転手 (一般)	④	人	
軽油 小型ローリー渡し (4 k L積載車)		L	
諸雑費	1. 000	式	

※単位当り※

A 規格	=3	ブラシ・四輪式・路面切削用 1. 5 m 3
B 供用日 当運転時間 (標準＝省略)	=	供用日 当運転時間 (標準＝省略)
C 家雪割増	=1	家雪割増 工種条件と同じ (家雪割増なし)
D 路面清掃車 (供用日／日)	=	路面清掃車 (供用日／日)
E 一般運転手 (人／日)	=	一般運転手 (人／日)
F 軽油 (L／日)	=	軽油 (L／日)

⑤積算条件を明示